

JCB THE PREMIUM

2

February
2017

〔国内特集〕

美味と絶景を追いかけて 冬の福井

〔海外特集〕

モルディブ・リゾート
「11の別天地」

〔趣味のある休日〕

最高に美味しい珈琲



世界にひとつ。
あなたにひとつ。



スイート、「別邸 個止吹気亭」がおすすめだ。「日本の建築美が息づく書院造りを基本に、福井の伝統工芸やモダンなエッセンスも加えた上質な空間でおくつろぎいただけます」と、おかみの山口由紀氏。夕食は専用厨房で専属の料理

人が手がける懐石料理が味わえ、冬は越前ガニも登場する。テニスクラブまで、特別な一客一亭のおもてなしを堪能したい。露天風呂に浸かり、雪景色を眺めるのもこの季節のぜいたく。冬の福井旅の思い出になるだろう。

—Awa no Onsen—
あわら温泉

離れとスイートで堪能する 湯宿での特別なひととき

1: 約140㎡の空間に露天風呂などを備えた「別邸 個止吹気亭」のロイヤルスイート「住苑」(おひとり様1泊2食付82,000円〜・サービス料込・入湯料込)。2: コースや登場するセイロガニ(越前ガニの産)の産直。3: また行きかと思っていたら旅費を目標し続けています」と山口氏。4: 別邸 個止吹気亭のコンフォートスイート「新」(おひとり様1泊2食付48,200円〜・サービス料込・入湯料込)は和モダンなしつらえ。

★「グランディア芳泉」に泊まる、おすすめのツアーをご用意しています。詳しくは35ページをご覧ください。

1883(明治16)年、灌漑用の水を求めて水田に掘った井戸から良質の温泉が湧出したことにはじまるおわら市の「あわら温泉」。いまでは源泉70本以上を有するといふこの一人温泉地で、今回の旅の宿を探してみたい。

「伝統旅館のぬくもり 灰屋」は開湯の翌年に創業。樹齢1000年以上の松板を使った格天井と木曾檜の太い丸柱が印象的なロビーからは、雪景色も美しい手入れの行き届いた庭が一面に広がる。創業時の敷居屋造りの趣を残した、庭園付の離れ「松風庵」は全室が異なる造り。そのうちも室は露天風呂を備え、庭園を眺めながら温泉が楽しめる。格式の高さを伝える客室の格天井や手彫りの欄間はどれも稀少なもの。庭園の池まで張り出した広縁でくつろげる個性的な造りの客室もある。福井の山海の幸が堪能できる夕食と心地よいおもてなしにも、老舗のぬくもりが感じられるだろう。

湯量豊富な自家源泉3本を有し、「天上のSPA」での湯巡りも人気の温泉旅館「グランディア芳泉」では、一般客室とは玄関から異なる、全16室の露天風呂付の

伝統旅館のぬくもり
灰屋
33ページ

1: 松風庵の特別室「新築」(おひとり様1泊2食付55,000円〜・サービス料込・入湯料込)は格調の露天風呂。豪華も落ち着いた由緒ある客室で、床の間に正面に、扉を左右に見守るすていかな造り。2: 宮大工が創業時の趣を再現した玄関を抜けると、庭が映えるロビーが広がる。3: 雪化粧のような盛り付けも美しいこの季節の八寸。料理は越前ガニをはじめ、フグ、甘エビなどの海の幸が並び、4: 敷地内の自家源泉から湧く温泉を、露天風呂などで楽しみたい。大浴場に併設されたトルマリン岩盤浴は無料で利用可能。

